

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）		
ナンバリングコード	L31205	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120559	クラス名	中西研究室
担当教員名	中西 章敦		
履修上の注意、 履修条件	実施日は履修者と調整のうえ決定します。 外部協力者との調整により変更となる場合がありますが、その場合は講義内でお知らせします。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	講義内で適宜紹介します。		
関連科目	教育科目・専門科目全般、研究ゼミナールA		

○基本情報		
授業の目的	研究ゼミナールAに引き続き、4年次に実施する卒業研究に向けて、研究室で取り扱っている研究テーマを学習、経験するとともに、研究フィールドを経験しながら研究、実験、調査、分析の手法を学び、自身の研究テーマを決定します。 土木、環境の仕事を理解し、自身の進路の決定に役立てるとともに、業界の活性化について考えていきます。 本講義はディプロマポリシーにある「変化する現代社会の中で、地球規模から地域の環境・景観、身の周りの暮らしに至るまでの諸問題を理解」することを目的としている。	
	大分県内の土木事業および環境事業の実際の現場に出向き、行政関係者やNPO、地域住民と問題の共有を行い、解決の方向性についてゼミナール形式で質疑応答、討論を行います。 卒業研究に向けて、自身のテーマを定め、テーマについておよび既往研究の調査を発表します。	
授業の概要	現在研究室で取り扱っている研究としては、人と河川とが共存する里川についての研究、田ノ浦海岸の利活用に関する研究、別府港海岸餅ヶ浜地区の利活用に関する研究、佐賀関における外来種の駆除に関する研究、グリーンインフラに関する研究があります。この他の内容でも、自身で調査を行い、取り組むことが可能です。	
	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
授業の運営方法	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
	地域志向科目	
実務経験のある教員による授業科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
	中西章敦(大分県庁土木建築部において大分県の道路・河川・地域づくりに関する行政に従事) 「大分県内の実際の諸問題の現場をテーマに取り上げる実習」	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	① 地域・現場における問題に関心を持ち、意欲を持って課題解決に取り組むことができる。			15点
【知識・理解】	② 課題・問題・解決の方向性の把握ができ、その調査、分析方法の基礎が理解できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③ 現場活動において、協力団体や地域関係者とのコミュニケーションをとることができる。			15点
【思考・判断・創造】	④ 実際の現場における、背景・現状・課題・問題点・解決の方向性を把握できる。		10点	40点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
ゼミナールおよび地域活動への参加(出席)を基本とします。(15点) 知識と理解に加え、自身の考え方をとうレポートを課します。(20点) 地域活動でのコミュニケーションをはじめとする取り組み状況を評価します。(15点) テーマについての発表を評価します。(50点) 課題のフィードバックは、次回以降の講義内で行います。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）	授業コード	L120559
担当教員 中西 章敦				
学修内容				
1. ゼミ活動(1) 卒業研究のテーマ決定に向けて、既往研究の調べ方について学習する。 省庁の発行する白書や、都道府県の作成する長期計画、市町村の策定する総合計画について学ぶ。				
予習		研究テーマについて考える。		約2時間
復習		Ciniiで実際論文を検索してみる。		約2時間
2. ゼミ活動(2) 卒業研究のテーマ決定に向けて、既往研究の調べ方について学習する。 省庁の発行する白書や、都道府県の作成する長期計画、市町村の策定する総合計画について学ぶ。				
予習		研究テーマについて考える。		約2時間
復習		Ciniiで実際論文を検索してみる。		約2時間
3. ゼミ活動(3) 研究テーマとして取り組みたいと考えているフィールドの調査を行う。				
予習		研究フィールドを検討する。		約2時間
復習		現場での調査結果のとりまとめを行う。		約2時間
4. ゼミ活動(4) 研究テーマとして取り組みたいと考えているフィールドの調査を行う。				
予習		研究フィールドを検討する。		約2時間
復習		現場での調査結果のとりまとめを行う。		約2時間
5. ゼミ活動(5) 研究テーマとして取り組みたいと考えているフィールドの調査を行う。				
予習		研究フィールドを検討する。		約2時間
復習		現場での調査結果のとりまとめを行う。		約2時間
6. ゼミ活動(6) 研究の内容およびフィールドについてのとりまとめを発表する。				
予習		自身の研究フィールドについてとりまとめ、発表資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
7. ゼミ活動(7) 研究の内容およびフィールドについてのとりまとめを発表する。				
予習		自身の研究フィールドについてとりまとめ、発表資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
8. ゼミ活動(8) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。				
予習		既往研究のレビュー資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間

○授業計画	科 目 名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）	授業コード	L120559
担当教員 中西 章敦				
学修内容				
9. ゼミ活動(1) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。				
予習		既往研究のレビュー資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
10. ゼミ活動(10) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。				
予習		既往研究のレビュー資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
11. ゼミ活動(11) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。				
予習		既往研究のレビュー資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
12. ゼミ活動(12) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。				
予習		既往研究のレビュー資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
13. ゼミ活動(13) 自身の研究テーマに関する既往研究をレビューし、その内容について発表を行います。				
予習		既往研究のレビュー資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
14. ゼミ活動(14) 自身の研究テーマの発表を行います。				
予習		自身の研究テーマについてとりまとめ、発表資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
15. ゼミ活動(15) 自身の研究テーマの発表を行います。				
予習		自身の研究テーマについてとりまとめ、発表資料を作成する。		約2時間
復習		発表の際に質問された点や疑義について復習する。		約2時間
16.				
予習				
復習				